北信地域障がい福祉自立支援協議会だより

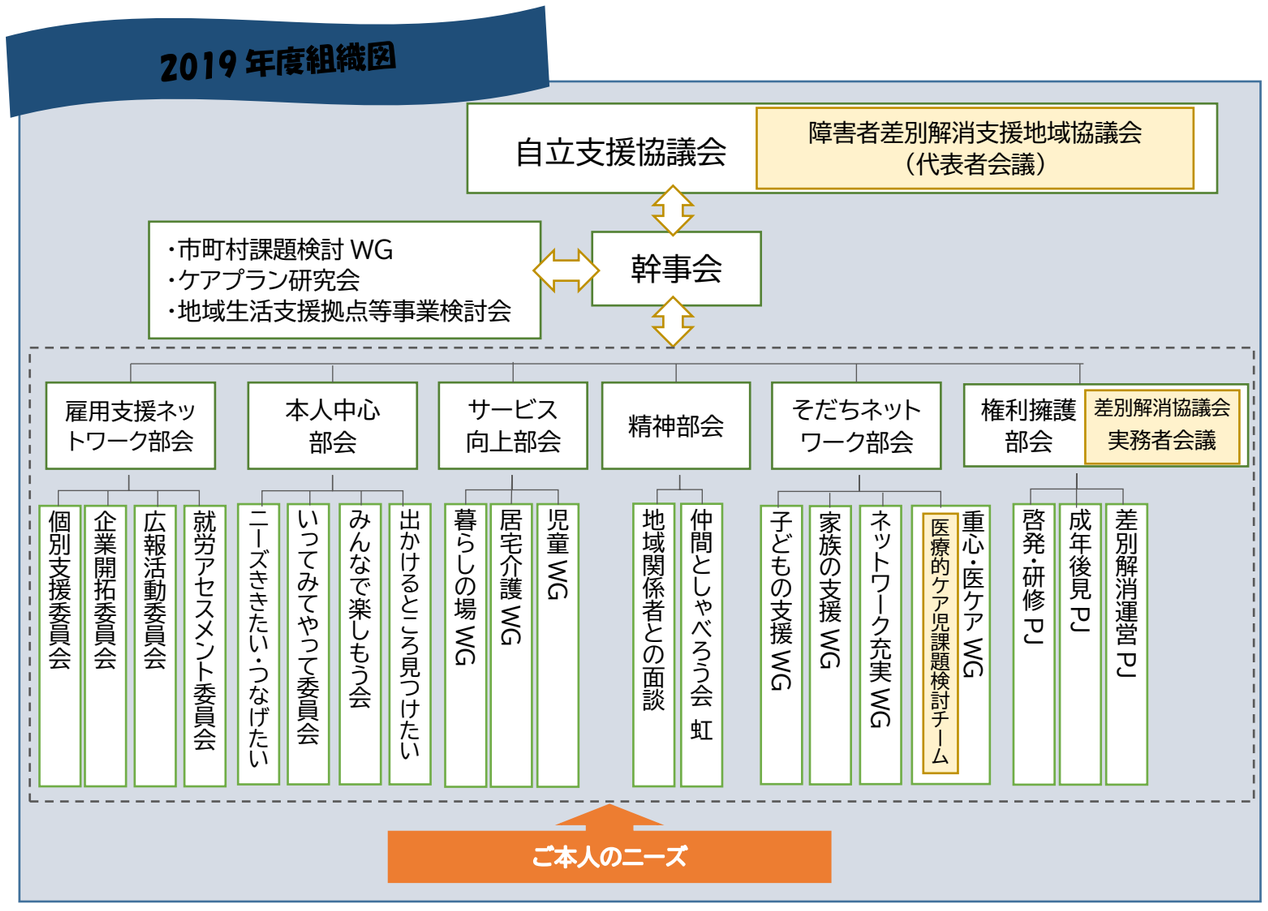
【編集・発行】北信地域障がい福祉自立支援協議会
【事務局】北信圏域障害者総合相談支援センター
【住所】中野市大字笠原 765-1
【TEL／FAX】0269－23－3525／0269-23-3521
【Emai】hokushin3525@nkn.janis.or.jp

（2020 年3月31日発行）

自立支援協議会とは??

関係機関（福祉・医療・保健・教育・労働等）が相互に連携を図り、情報や課題を共有し、地域の実情に応じた障がい者等への支援体制の充実のために協議を行う組織です。
北信圏域では H18年度に、北信圏域6市町村によって設置されました。現在は 6 つの専門部会を設置し、北信圏域に暮らす障がいのある方々が地域で豊かに暮らし続けられる様、日々地域の課題の検討や、様々な活動を行っています。

2019 年度組織図



◇2019 年度の成果◇

◇「北信圏域障害者差別解消支援地域協議会」が始まりました！

2016 年に施行された「障害者差別解消法」に基づき、地域における障がい者差別に関する相談等について情報を共有し、障がい者差別を解消するための取り組みを効果的かつ円滑に行うネットワークとして、2019 年 4 月、北信圏域でも障害者差別解消支援地域協議会が設置されました。
北信圏域では、自立支援協議会の中に「代表者会議」、権利擁護部会の中に「実務者会議」を設置し、障がい者差別に関する相談窓口で使用するための、「差別事案相談受付票」「事実確認票」「障害者差別に関する相談事例等への対応フロー図」を作成。今後はこれらの活用と、啓発にも力を入れていきたいと考えています。

◇「重心・医ケア部会」設置へ！

医療的ケアが必要なお子さん等の支援の充実に向けた協議の場の設置に向けて、そだちネットワーク部会に「医療的ケア児等課題検討チーム」を置き検討してきました。その結果、医療的ケア児の現状と支援体制の課題を把握し、課題の整理と解決に向けた活動を、地域の関係機関と共にスピード感をもって取り組んでいくため、来年度部会を設置する方向性が示され、自立支援協議会で承認されました。
2020 年度 4 月、新たに自立支援協議会内に「重心・医ケア部会」を設置します。
初年度は、①地域連携～医療との連携～、②地域課題、③親の会の 3 つを柱に活動を行う予定です。

◇貴重な当事者の声が聴ける研修会を実施！

2019 年度は当事者の体験談が聴ける研修会が、部会同士のコラボレーションで開催されました。
“本人の声”に勝るものなし！大好評の研修会となりました。

**テーマ「大人になるってなんだろう!?
働くってなんだろう!?」**

**内容：児童期から支援を受けてきた方による
就労⇒退職⇒再就職の体験談**

**主催：サービス向上部会
× 雇用支援ネットワーク部会**

**テーマ「暮らしたい場所で
暮らせる地域づくり」**

内容：地域移行をされた当事者の体験談

**主催：地域生活支援拠点等事業検討会
× 精神部会**

参加者の声

- 生の声が聴けて感動した。
- 選択できる経験値を増やせるように支援していきたい。
- 実体験は説得力がある！
- 部会同士のコラボっていいなぁ

自立支援協議会　各部会の活動、研修会のお知らせ等は、随時ホームページで紹介しております。
ホームページもぜひご覧ください！
「北信　自立」または http://www.jiritusien.jp/　で検索を！
QR コードからも！

北信　自立　検索

☆専門部会をちょっとご紹介☆～2019 年度のトピックス～

☆雇用支援ネットワーク部会☆

【目的】
障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指す。

〇個別支援委員会
〇企業開拓委員会

〇広報活動委員会
H22 年から掲載してきた「てんでねっと」が 100 号を迎え、掲載終了となりました。

〇就労アセスメント委員会
北信圏域における「就労アセスメント」の今後の実施体制について検討するため、下半期から新たに委員会が設置されました。

☆本人中心部会☆

【目的】
障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったより良いサービスが提供できる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活動できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。

〇ニーズ聴きたい・つなげたい
〇いってみてやって委員会
〇みんなで楽しもう会

〇出かけるところ見つけたい
当事者の方が 1 人でも安心して外出を楽しめるように、必要な情報を掲載した冊子
「小さな発見マップ～行ってみよう！地域のお店」が完成しました！

☆サービス向上部会☆

【目的】
地域の支援者の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく。また、横のつながりを大切にし、情報共有の中から地域の課題の把握・提案を行っていく。

〇良い支援を行うためには、支援者自身が元気でなくちゃ！
ということで、「支援者も元気になる！」を年間のテーマとし、児童、ヘルパー、暮らしの場の 3 つのグループでの情報共有・課題検討や、研修会の企画・実施を行いました。

〇第 4 回研修会
「大人になるってなんだろう!?働くってなんだろう!?」

雇用支援ネットワーク部会と共催し、てんでねっと」100 号に掲載された方を講師としてお招きしました。当事者による就労の体験談に加え、支援者からの質問にもたくさんお答えいただきました。

☆精神部会☆

【目的】
精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

〇仲間としゃべろう会 虹
当事者の方を中心に、気軽に集まっておしゃべりができる場として月 1 回開催中。

〇研修会
「暮らしたい場所で暮らせる地域づくり」

地域生活支援拠点等事業検討会と共催し、地域移行された当事者を講師に迎え、研修会を実施しました。

☆そだちネットワーク部会☆

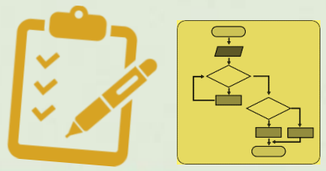
【目的】
様々な障がいや困り感を持っている子ども及び家族の気持ちに寄り添いながら、子どもや家族を支える地域の関係機関の連携体制を構築していく。

〇子どもの困り感や特性に合わせた支援 WG
〇家族の気持ちに寄り添う支援 WG
〇関係機関のネットワーク機能の充実
〇重心・医ケア児とその家族が安心できる地域づくり WG
WG 内に「医療的ケア児課題検討チーム」を置き、検討を重ねた結果、「重心・医ケア部会」を設置することとなりました！

〇発達障がい支援フォーラム実行委員会
発達障がい支援フォーラム開催に向け準備中。
テーマ「発達障がい児が安心して大人になっていくために」
講師　本田秀夫氏（信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長）
日時　2020 年 5 月 30 日(土)13:00～16:30
会場　飯山市文化交流館なちゅら

☆権利擁護部会☆

【目的】
障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を強化していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指していく。

〇啓発・研修 PJ
〇成年後見 PJ
〇差別解消運営 PJ

〇障害者差別解消支援地域協議会実務者会議
圏域内の市町村で相談受付状況の共有や、相談窓口となる方がスムーズに相談にあたれるよう「差別事案相談受付票」「事実確認票」「差別に関する相談対応の流れ（フローチャート）」を作成。4 月から使用していくことになりました。